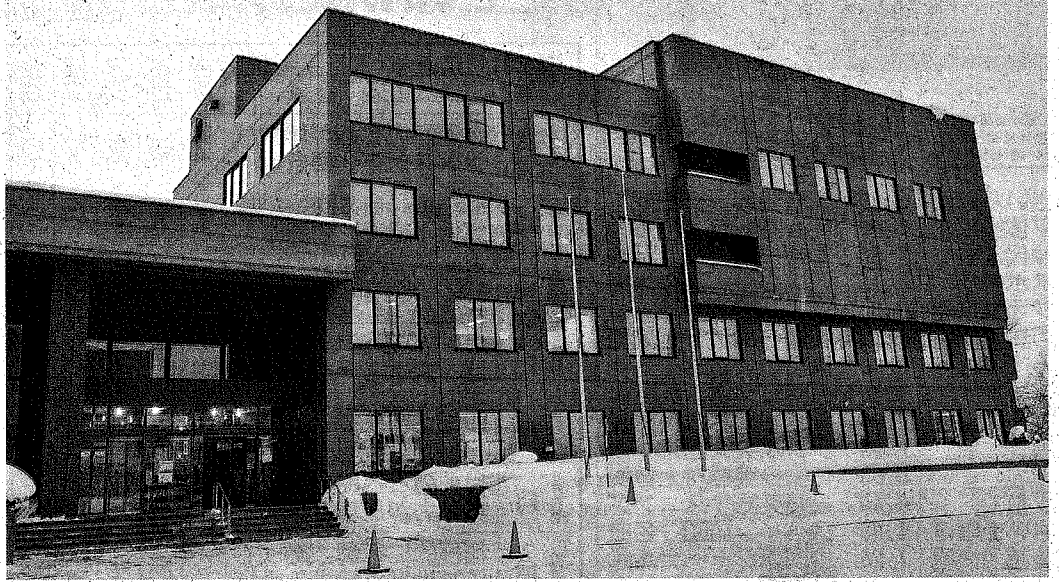




新年度中に耐震化される砂川市公民館

全避難所耐震化完了へ

砂川市 新年度に公民館着手

【砂川】市は新年度、市公民館の耐震化工事に着手する。これにより、市内11カ所の全避難所の耐震化が完了する。ただ、災害時の拠点となる市役所庁舎については耐震化されておらず、今後、庁舎の建て替えか、大規模改修かの議論が本格化する。

(石田礼)

拠点の市庁舎が課題に

公民館は1981年建設の鉄筋コンクリート造4階建て、延べ4370平方メートル。市民のサークル活動などで使う会議室や研修室のほか、市教委事務室と郷土資料室などが入っている。避難所としての収容人数は800人で、近隣8町内会の住民の利用が想定され

ている。耐震化の総事業費は概算で約4億6千万円。2月末までに実施設計が完了する。工期は約1年。併設されている図書館は公民館の翌年の完成で、建物は別。耐震基準も満たしており、今回の工事の対象外となっている。市地域防災計画による

と、市内の避難所は公民館のほか、小中学校や総合体育館など10カ所あり、耐震化を既に終えている。避難所の耐震化にはめどがついたが、残る最大の課題が災害時の指揮拠点となる市庁舎。1970年の建設で、耐震上の問題だけでなく、市民からは「エレベ

ーターがなく、高齢者が会議で集まるのも大変」と利便性についても問題が指摘されている。

善岡雅文市長は「あくま

で市民の意向を聞きながら進めたい」として、建て替えについて慎重に検討する方針を示している。